

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	音楽業界研究 4
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	ヴォーカリストコース・プレイヤーコース	開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	30時間
単位数	2単位	授業形態	講義		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	藤崎	実務経験の有無・職種	有・ミュージシャン		
<b>学習目的</b>					
音楽業界に関わる仕事とはどのようなものがあるか。この科目を受講する学生は、音楽業界の様々な仕事がどのようなものであるかということを理解し、これまでイメージしてきた音楽業界というものと違いを意識させる。そのうえで、どのような考え方や能力が求められることを意識できるようにし、「音楽業界」において働くとはどういう意義を持ち、どのような人間的資質が求められており、評価されるのかを理解できるようになることを目的とする。					
<b>到達目標</b>					
何気なく漠然とイメージしていた「音楽業界」というものに対してより具体的に、職種の紹介や説明、どのような役割があるのかを可能な限り理解ができるようにする。そのうえで、日々活動している社会の中で自分を位置付けること、業種・企業・職種を自分の適性や興味・関心と結びつけて理解すること、社会にでてから活動するために必要な能力を具体的にイメージすること、社会や組織で協働することの重要性を理解することなどができるようになることを目標としている。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	個人ワークやグループワークを採り入れる。他人が発する情報をどのように受けとめ、理解するか、さらにそれをどのように伝えていくかを意識しながら、授業を進める。授業中での行動を通じて、学生の「ジェネリックスキル」を育成していく。この授業に主体的に参加する学生が、自分の「音楽業界とは」を自分自身の言葉で語り、理解できるようになることを目指す。				
注意点	キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。音楽業界の動き等について概説するので、自分でも情報を収集し、演奏技能の向上に努める事。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する		
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する		
	成果発表 (口頭・実技)	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する		
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	前期の復習(1)	前期の授業を復習し、理解を深める。			
2回	業種と企業研究(1)	レコード会社を中心とした業種と企業について研究し、理解する。			
3回	業種と企業研究(2)	プロダクションを中心に業種と企業について研究し、理解する。			
4回	インディーズ研究(1)	インディーズというものはどのようなものかについて、理解を深める。			
5回	インディーズ研究(2)	インディーズの成功例を研究して、理解を深める。			
6回	レコード会社の業種について(1)	前期でおこなった音楽業界の中心となるレコード会社の業種について細かい職種まで理解する。			
7回	レコード会社の業種について(2)	前期でおこなった音楽業界の中心となるレコード会社の業種について細かい職種まで理解する。			
8回	プロダクションの業種について(1)	前期でおこなった音楽業界の中心となるプロダクションの業種について細かい職種まで理解する。			
9回	プロダクションの業種について(2)	前期でおこなった音楽業界の中心となるプロダクションの業種について細かい職種まで理解する。			
10回	海外アーティストに関わる業種について	近年K-POPなどのワールドワイドのアーティストが増える中、そこに関わる業種は何かを理解する。			
11回	配信制作シミュレーション(1)	実際にiTunes配信やストリーミング配信のリリースする流れを理解し、シミュレーションできる。			
12回	配信制作シミュレーション(2)	実際にiTunes配信やストリーミング配信のリリースする流れを理解し、シミュレーションできる。			
13回	コンサート制作シミュレーション(1)	実際にコンサートをおこなうにはどのような流れを理解し、シミュレーションできる。			
14回	コンサート制作シミュレーション(2)	実際にコンサートをおこなうにはどのような流れを理解し、シミュレーションできる。			
15回	まとめ	全体のまとめ。			